三東運輸株式会社
都市環境の未来をになう

環境・CSR報告書

［2026年11月1日発行］

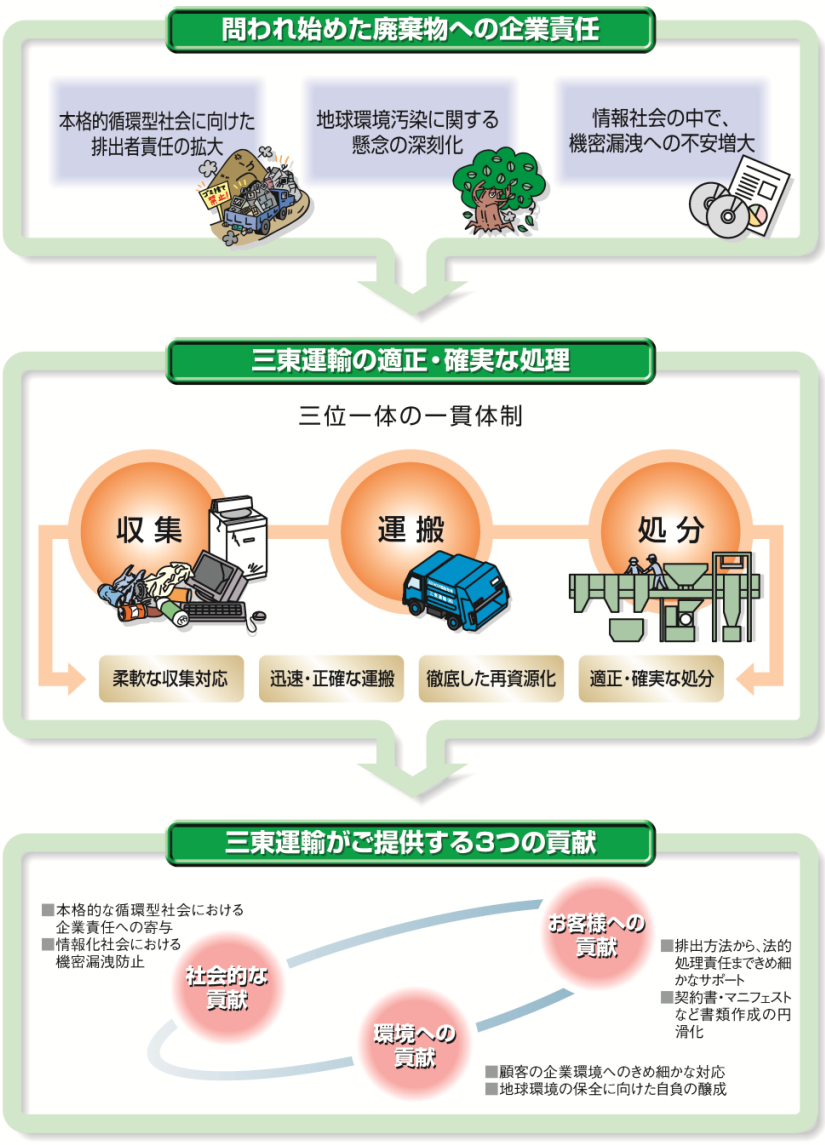
～廃棄物事業を先端産業へ～

昭和26年の創立以来、永年にわたって廃棄物処理に携わってきた当社は、これまで裏方のイメージで捉えられがちだった廃棄物処理を時代の先端産業と考え、適正処理とリサイクルに関する新技術、新手法を積極的に取入れています。

リサイクル施設の設立・運営はその一環であり、また、環境に関するISO14001及び情報セキュリティに関するISO/IEC27001の認証取得を通じ、多様なニーズにきめ細かくお応えしながら、快適でクリーンな、住みよい環境づくりを推進し、循環型社会形成及び安心・安全な情報化社会形成へのより一層の貢献を目指しています。

«トピックス»

1.表紙　当社の仕事
2.本業としての取組み
3.持続可能な社会への貢献
4.さいごに



廃棄物処理の企業責任が注目されるようになった今日、当社では、お客様に安心して産業廃棄物・事業系一般廃棄物の処理をご依頼いただくため、以下のような適正処理方法を掲げ、企業のお客様をごみ処理面からサポートさせていただきます。

«三東運輸の3つの貢献»

◇お客様への貢献◇
- 適正・確実な処理実績
- 柔軟な収集対応
- ISO14001,
  ISO/IEC27001認証取得

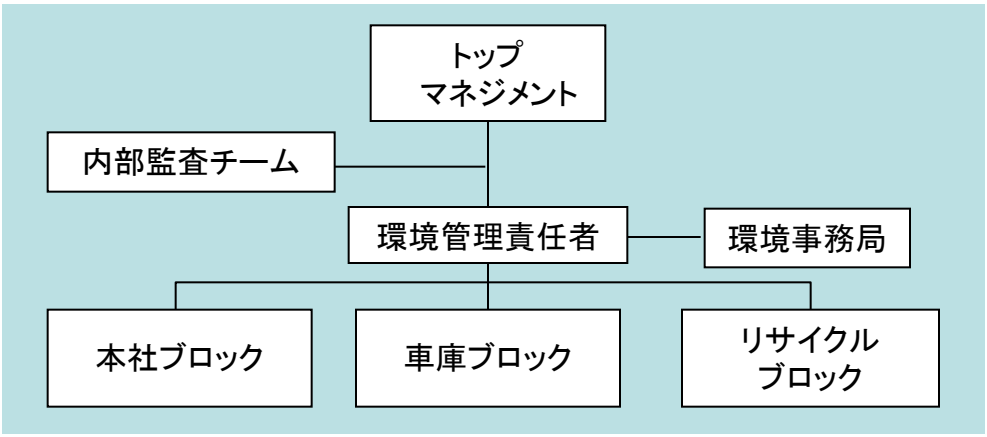
◇社会的な貢献◇
- 交通安全
- 情報化社会で機密処理
- 地域社会との連携

◇環境への貢献◇
- 徹底した再資源化
- 迅速・正確な運搬
- 地域美化への貢献

本業としての取組み

«環境への推進体制»

全社で環境の取組み推進するために、ISO14001環境マネジメントシステムを導入し、PDCAサイクルを活用した運用を行っています。また、第三者機関の外部審査による認証を受けています。



EMS548183/
ISO14001:2015



«環境配慮への取組み状況»

【収集・運搬業務】

収集・運搬業務では、事故防止の取組みをはじめ、省エネ運転に努め、デジタルタコメーターの分析等により燃費向上・低公害（NOx:窒素酸化物の削減）を図っています。また、計画的に低公害車の導入を進め、燃費向上と省エネに努めています。

車両の環境配慮	2016年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ガソリン車燃費向上 [ガソリン]	— (10.23km/ℓ)	+0.98 % (10.33km/ℓ)	+3.29 % (10.57km/ℓ)	+1.08 % (10.34km/ℓ)	+6.41% (10.89km/ℓ)
排気ガスNOxの削減率 [軽油/LPG/CNG]（NOx排出量）	— (1.32kg/台)	−43.2% (0.75kg/台)	−45.7% (0.72kg/台)	−60.6% (0.52kg/台)	-68.2% (0.42kg/台)
低公害車・低燃費車導入率 [自動車環境管理実績報告書]	7.9%	21.54%	33.00%	32.51%	35.75%

◆目標達成への計画◆

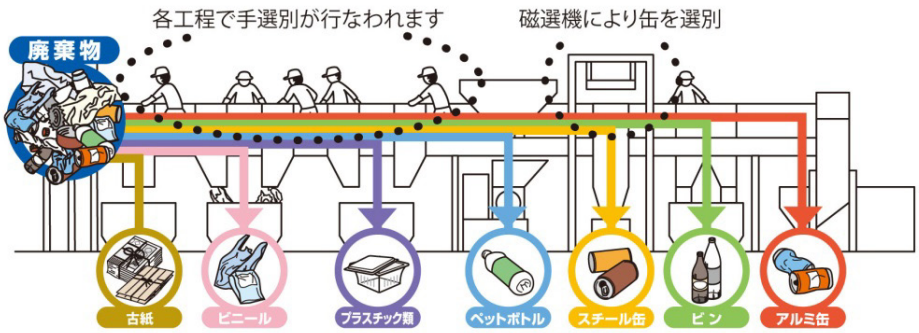
目標	①ガソリン車燃費の向上：2016年比、1台当たり 1.5% 向上 ②排気ガスNoxの削減　：2016年比、1台当たり　10% 削減 ③低公害車導入の向上　：2026年末までに 30% 導入

手段	具体的な内容	実施時期
エコドライブの推進	毎月車両別実績を分析し、目標に対する各自の進捗状況を管理する。	毎月
デジタルタコメーター・ドライブレコーダーの活用	毎週定期的に車両ごとに内容を分析し、安全運行管理および経済走行指導に活用する。	毎週
ヒヤリ・ハットチェックシートの提出活動	運転者よりチェックシートを回収し、状況を確認・記録し、研修会へ活用する。	1回/3ヶ月 (研修会)
低公害車の導入	導入車両は特定低公害・低燃費車両を導入する。	随時

本業としての取組み

【リサイクル業務】

人による手選別と機械による磁力選別な分別された廃棄物を確実にリサイクルできるシステムにより、高いリサイクル率を実現しています。



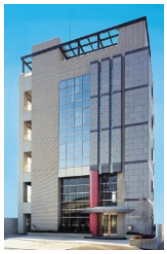
リサイクル率	2010年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
リサイクル率(%)	81.8%	98.4%	99.7%	100.0%	100.0%
向上率(%) (2010年度比)	–	+16.6%	+17.9%	+18.2%	+18.2%

【電気・ガスの使用（全社）】

電力・ガス使用量は、新木場工場が本稼働した2014年度を基準に削減目標を設定しました。
本社およびプラントでの業務繁忙もありましたが、2025年度は8.9%削減を達成しました。

電気・ガスの使用	2014年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量（GJ）	3,544	2, 969	3,208	3,343	3,230
削減率（%） （2014年度比）	–	-16.2%	-9.5%	-5.7%	-8.9%

【温室効果ガス排出量】



環境負荷低減の目標として、全社における温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいます。2025年度は37.4%削減を達成しました。これは、配送ルートの見直しによる効率化や、燃料使用量の抑制など、業務運営の改善が奏功した結果です。
今後も燃費の良い運転を心掛け、計画的に低燃費車を導入することで、全社における温室効果ガスの排出量削減に努めます。

温室効果ガス排出量	2014年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
CO_2換算(tCO_2)	1,545	1, 667	1, 505	1,179	1,081
削減率(%) （2014年度比）	–	7.9%	-2.6%	-23.7%	-37.4%

※CO_2換算には、東京都が定める温室効果ガス量算定基準を使用しています。
2024年度実績から排出係数が変更されたため、本報告書に反映しています。

◆目標達成への計画◆

目標	温室効果ガス排出量の削減：2025年度末までに10%削減（2014年度比）

手段	具体的な内容	実施時期
省エネ活動の推進	エネルギーの使用量の実績を分析し、目標に対する進捗状況を管理する。	毎月
作業効率化	各業務において、運行経路やリサイクル業務、事務作業の効率化を図る。	毎日
施設・設備の更新	施設・設備の更新を検討し、省エネタイプの導入を優先する。	随時

持続可能な社会への貢献

«SDGs（エスディージーズ）について»
SDGs（エスディージーズ）は、2015年9月に国連サミットで採択された2030年までの国際社会共通の目標、「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals：SDGs)のことです。
SDGs（持続可能な開発目標）は、環境・経済・社会について17のゴール・169のターゲットから成り、「地球上の誰一人として取り残さないこと」を誓っています。
当社は、快適でクリーンな住みよい環境づくりを推進し、循環型社会形成及び安心・安全な情報化社会形成へより一層貢献すべく、SDGsのゴールを意識した取り組みを進めています。以下の表にはそれぞれの取組みに関連するゴールを示しています。

事業を通しての貢献

廃棄物の適切な処理
一般廃棄物と産業廃棄物の収集運搬・処分を円滑かつ確実に実施することで、地域の衛生環境に貢献しています。



リサイクルを行い資源を有効利用
蛍光管や古紙、ビニール等の10種類以上のリサイクルを行い、廃棄物の大幅な削減と資源の有効利用に貢献しています。



LED化の促進
本社では9割以上の蛍光灯をLED化しました。順次、その他の施設でも進めます。



交通安全・事故防止への取り組み
デジタルタコメーターやドライブレコーダーの情報を分析し、安全運行管理指導へ活用することで、道路交通安全・事故防止に努めています。



低排出ガス車の導入と低燃費走行の実施
低排出ガス車の導入率9割の達成に加え、デジタルタコメーターのアラート機能を活用した運転により、効率的なエネルギー利用に努めています。



タブレットの活用による紙面利用削減
収集運搬業務では、タブレットを活用し運搬に必要な伝票類の紙を減らしました。業務の省資源化と、情報セキュリティ対策の推進に貢献しています。



従業員に対する取組み

社内教育訓練の実施
全従業員を対象に、環境及び社会への取組みや情報セキュリティに関する教育を定期的に実施する等、業務に必要な知識のとスキルの習得に積極的に取り組んでいます。



障害者雇用への取組み
国の定める障害者雇用率2.3%の達成を目指し、採用を進めています。
現在は廃棄物の選別や積込み作業などに従事し活躍しています。



女性の働きをサポート
現場での女性の積極採用を行うとともに、女性用トイレの設置等、女性が働きやすい職場環境の整備に努めています。



快適に働ける職場づくり
トレーラーハウスを設置し、ロッカールームと休憩所を分離し、着替えや休憩のスペースが広く快適になりました。トイレも増設し、利便性と衛生面の向上を図りました。



持続可能な社会への貢献

社会に対する取組み

交通遺児育英会への寄付

当社の業務は道路交通安全に密接に係わっています。交通事故により保護者に頼れなくなった子供を支えたいとの思いで、寄付を行っています。



災害協定の締結

災害時の応急支援を担うため、当社の新木場工場は隣接する航空警察隊と災害協定を締結し、災害への適応力強化に貢献しています。



ユニセフ・マンスリーサポート・プログラムへの寄付

約10年間にわたり、世界の子供たちの命と成長を支えるために寄付を行い、国際協力の拡大に貢献しています。



地域の防犯・テロ対策への協力

地区特防協の会員企業となり、地区の警察署と連携しながら特殊暴力の排除及び対策を推進しています。



サステナブル経営に取り組む企業を選択

「マングローブ価値共創100年宣言」など、環境や社会に対する持続可能な取り組みに、積極的に挑戦している東京海上日動を保険会社として選んでいます。



地域の環境啓発活動への参加

「江戸川区環境フェア」や「環境フェスタたいとう」では、リサイクル製品や廃棄物処理に関するパネルの展示等を通じて、地域の方へ取組みを紹介しています。



当社ではSDGsの17のゴールのうち、16のゴールに対する取組みを行っています。今後も廃棄物の適正処理、排出量の削減と再資源化を軸に、持続可能な社会の実現に挑戦してまいります。



当社では、SDGsに取り組む上で最も重要なことは

従業員一人ひとりが環境意識を持ち、日々の業務を通じて取り組んでいく

ことであると考えています。

そのため、今後も定期的な社内教育や専門教育の実施、地域活動への積極参加により、内外ともに活動を拡げていく取組みをしていきます。

さいごに

使用済みリチウムイオン電池の回収に関する取り組み

使用済みのリチウムイオン電池は、回収中に発煙・発火する恐れがあります。

当社では、近年増加しているリチウムイオン電池等の二次電池に起因する火災への対策として、折り畳み式危険物収集ＢＯＸ「BT-PACKER™ （ビーティーパッカー™ ）」の開発に協力しました。（2026年2月より販売開始）

また、当社の工場では、回収したリチウムイオン電池を安全に保管するため、耐火性の保管庫を設置しました。

今後も、貴重な資源である使用済みリチウムイオン電池の安全な回収と保管を徹底し、火災事故の未然防止と安全・安心な事業運営に取り組んでまいります。



折り畳み式危険物収集BOX
「BT-PACKER™ 」
（ビーティーパッカー™ ）

関連プレスリリース:
https://www.morita119.com/ir/pdf/20260212_1.pdf

地球温暖化に代表される環境問題は、社会経済活動や生活全般に深くかかわるものです。大都市東京の廃棄物行政の一翼を担う当社としても、率先して環境・社会活動に取り組んでいます。

環境面では、省燃費運転及び事故防止に向けた従業員研修を積極的に実施し、従業員の意識向上とその効果の定着を図っています。

社会面では、地域とのコミュニケーションを重視し、各区主催の環境フェア等に毎年積極的に参加してきました。

気候変動や世界情勢の急速な変化により未来は相変わらず不透明ですが、いかなる変化にも的確に対応し、安全・確実でより質の高いサービスを常に提供できるよう体制を備えてまいります。

三東運輸株式会社　代表取締役　　田口 裕康

«編集後記»
東京の江戸川区で創業以来70年以上にわたり、地域と共に本業を通して環境・社会への取組みを行ってまいりました。企業活動の説明責任・透明性を高め、これからも従業員が一環となり取り組みを行うために「環境CSR報告書」を発行しております。

【問い合わせ先】
三東運輸株式会社　ISO事務局
https://www.santouunyu.com/
〒133-0061　東京都江戸川区篠崎町3-12-6
ＴＥＬ：03-3670-3101　ＦＡＸ：03-3670-3320

[報告対象]

報告期間：
2025年4月1日～2026年3月31日

対象サイト：
本社・車庫・リサイクル施設

発行日：2026年11月1日